

大垣市立赤坂中学校で防災講座を行いました

令和7年10月16日（木）、大垣市立赤坂中学校で1年生約130名に防災講座を行いました。学校の近くには、杭瀬川が流れています。また、学校周辺の赤坂地区では、昨年8月の台風10号で浸水被害が発生しています。

講座では、大垣市でも被害のあった9.12豪雨災害や伊勢湾台風など過去の水害について学習しました。9.12豪雨災害を知らない生徒も多く、今回の講座で「自分の住んでいる地域で起きた過去の災害」を知る事の意味も学びました。

また、VRや映像による浸水疑似体験、伊勢湾台風A1語り部「伊勢湾太郎」との対話体験も行い、対話体験では、「避難所はどんな様子でしたか？」「役に立った防災グッズはなんですか？」などの質問をして、避難について理解を深めました。

講座の最後には、「水害に対して防災意識が高まりました。水害の時には、今回の講座で学んだことを思い出します。」との感想がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。



台風10号で浸水した箇所



杭瀬川の様子